

耳片の採取方法

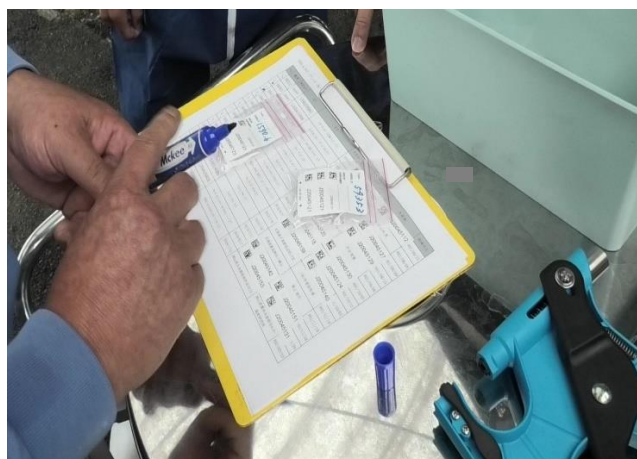
※Allflex 製 TSU(Tissue Sampling Unit) リキッド使用の場合



- 1 ①TSU アプリケーター
②送付用ビニール袋
③TSU チューブ
を準備して下さい。

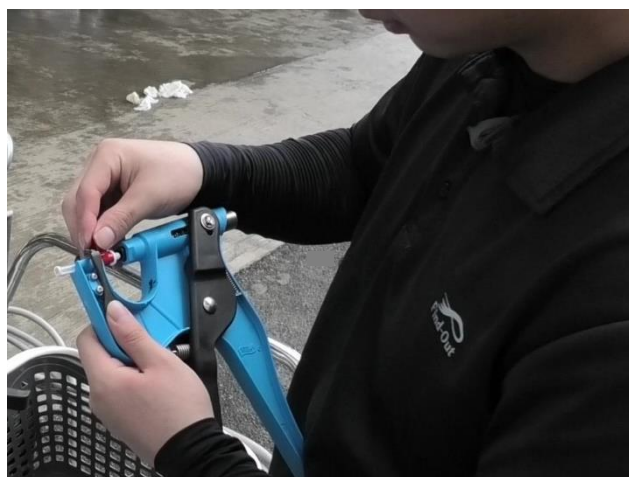
※使用方法については、ささえあ製薬 HP
や **当団HPを参照して下さい。**

https://sasaeah.co.jp/products/remedy/husbandry/tsu-liquid_tsu_dry/index.html



- 2 送付用ビニール袋に採取する牛の個体識別番号を明記して下さい。

※送付用ビニール袋の一番下のシールを台帳等に貼って置くと取り間違えの防止になります。(1の赤丸)



- 3 TSU アプリケーターにTSU チューブをセットして下さい。

カッターが固定部に正しく装着されていることを確認してください。
また、TSU チューブの固定も確認してください。

※TSU チューブは、使いまわしできません。1頭に1チューブです。



- 4 牛をしっかり保定し、耳片を採取する耳の両面をペーパータオル等で拭きます。この時に、個体識別番号の確認を行って下さい。

※飼料等の異物が混入すると正確な検査結果が得られません。



- 5 耳標を取り付ける要領でパンチを行います。刃は、耳の後ろから当てて下さい。血管部にパンチを行わないように注意して下さい。

※出血した場合は、圧迫して止血を行って下さい。



- 6 採取後の TSU チューブを送付用ビニール袋に入れて下さい。使用した刃(白色)と留具(赤色)も送付用ビニール袋に入れても構いません、こちらで処分を致します(任意)。

TSU チューブの中に緑色の玉と耳片が入っていることを確認して下さい。入っていない場合は、採取されていませんのでもう一度行って下さい。

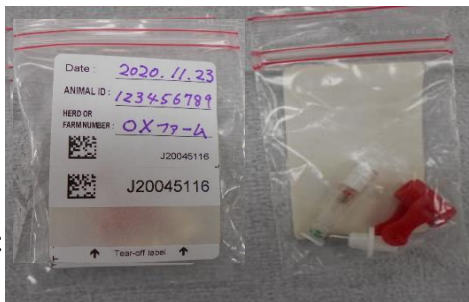


一度行って下さい。

緑色の玉

- 7 農場名(氏名)や個体情報などを記入して送付して下さい(保管・送付とも常温で構いません)。

表



裏